

新用地に新病院建設、跡地には医療・福祉施設誘致に務める! 塚口病院の存続と充実を求める会 第3回総会

—これまでの運動の成果を確信に、今後も取り組みを発展させよう—

県立塚口病院の存続と充実を求める会は、08年8月以来1年半にわたって多くの皆さんと協力し、8万人署名などねばり強い取り組みを行ってきました。その結果、当初求めた現塚口病院の「存続と充実」には至りませんでした。県は県民の声を一定反映せざるを得ませんでした。

そこで、これまでの取り組みに確信をもって、“尼崎市と阪神地域の医療を充実”するために、第3回総会を開催致します。

多数ご参加くださいますよう、お願い致します。



日時 **8月1日(日) 午後2時～4時**

場所 **塚口さんさんタウン2番館
さんさんコミュニティホール(4階)**

連絡通路2階に入口があり、らせん階段を上る



講演 **消防救急から見た尼崎市における
救急医療の現状と課題**
講師 **元尼崎市消防局長 吉田寛氏**



らせん階段
2番館

主催 **県立塚口病院の存続と充実を求める会**
代表 **畠中正昭**
尼崎市東難波町4-4-11 ☎080-5710-4754

兵庫県保険医協会 尼崎支部ニュース

312号

2010年7月25日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック内
兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

映画上映&音楽療法 盛りだくさんで好評

第39回尼崎支部総会・記念企画を開催

尼崎支部は7月17日、尼崎労働福祉会館中ホールで第39回支部総会記念企画を開催し、医師・歯科医師、コメディカル、市民ら62人が参加した。記念企画の第一部では映画『アフガンに命の水を～ペシャワール会26年目の闘い～』を上映し、第二部では「音楽療法を体験してみよう」と題して、県立塚口病院・音楽療法士の中西幸氏が講演した。



挨拶する八木秀満支部長

第一部の映画は、ペシャワール会現地代表で日本人医師である中村哲氏が、アフガニスタンのかんばつで荒れ果てた大地を、用水路建設によって緑の大地を蘇らせようという試みを描いたもので、中村氏の「ここで

起きていることは政治の問題ではなく“パンと水の問題”だ。アフガンに必要なのは農業のできる環境であって、軍隊ではない」という強いメッセージが伝わる。参加者からは「日本人がこんな形で活躍していることに感銘を受けた」などの感想が寄せ

られた。第二部では、音楽療法を実技を交えて実践。参加者は、心地よい音楽を聴きながら瞑想することでリラックスする効果や、歌を歌いながらリズムに合わせて手を動かしたりボールを投げたりすることで心身の機能の回復を図る効果を体験し、「とても楽しかった。施設でさそく実践したい」と大変好評だった。



音楽療法士の中西氏



音楽に合わせてボールを投げる練習を体験

頑張ってます!



炎天下のなか署名に取り組む参加者

「国保料を引き下げて！」

一尼崎社保協が恒例の街頭宣伝を実施

尼崎社会保障推進協議会は、7月17日に阪神尼崎駅前前で国保料引き下げを求める街頭宣伝を実施。8人が参加し、1時間で59筆の署名が集まった。

署名に協力した人からは、「もうすぐ定年を迎えるので国保に入らないといけませんが、こんなに高いのか。糖尿病もあるのに・・・」と不安の声が寄せられた。

尼崎アスベスト裁判

環境、労災型、行政訴訟 3つの裁判の審理すすむ

旧クボタ神崎工場周辺での環境暴露によるアスベスト被害を訴えている山内康民さんらの裁判で、17回目の口答弁論が7月14日に行われた。

また、クボタの下請け会社でアスベストの運搬作業に従事し、アスベストによる死亡が判明した山本美智子さんらの労災型裁判は7月5日に4回目の口答弁論が行われた。

いずれも、「窓を密閉しておりクボタ旧神崎工場からアスベスト飛散はない」、「孫請け会社にたいする責任はない」とするクボタや、「当時石綿の危険性を知り得なかった」などとする国は、一貫して責任を否認しつづけている。

原告側は、「クボタの指揮下にあった孫請にたいして安全配慮義務がある」、工場の「窓全部開放」等クボタ側資料との矛盾を指摘し、飛散の事実を認め、具体的に明らかにするよう求めた。次回は9月24日、27日。

一方、肺がん発症当時アスベストによる労災とは認定されず、その後労災認定されたものの休業補償は2年の時効を過ぎていたとの理由で不支給とされた松本博さんの行政訴訟は、7月15日に4回目の裁判が開かれた。遺族には遡及されるのに、生存者には適用されないアスベスト救済法との矛盾を指摘した。次回は9月17日。

国が控訴 泉南アスベスト被害国家賠償訴訟

国に賠償責任を認めた大阪地裁の泉南アスベスト国家賠償判決にたいし、国は被害者の願いに応えず控訴したことから、原告側も直ちに控訴した。今後大阪高裁で争われるが、原告団は「命のあるうちに早期全面解決」をと訴えている。

尼崎公害患者・家族の会が総会

「公害なくせ」の運動さらに

尼崎大気汚染公害訴訟原告団の「尼崎公害患者・家族の会」は7月10日、尼崎総合文化センターで第39回定期総会を開催し、患者や家族ら148人が参加した。

協会からは森岡芳雄理事(環境・公害対策部長)が祝辞を送り、「環境ロードプライシングを始めとする環境汚染軽減への活動から、尼崎再生、反戦平和へと展開されている運動に心から敬意を表します」と連帯を表明した。



ロードプライシング拡大など求める方針が採択された

松光子同会会長は「新政権の下、次の一年はもっと厳しい一年になる。守り、闘い、進んでいきましょう」と会への支援・協力を訴えた。

同会は、道路公害をなくすために国・阪神高速道路会社に対して国道43号線・阪神高速3号線の大型車削減や規制を求めて運動をすすめ、その闘いは39年に及んでいる。運動によって、国道43号線から大型車を湾岸線に誘導する「環境ロードプライシング」の実施および国道43号線交差点のバリアフリー化着工が実現している。

第438回 幹事会だより

6月25日(金) 於立花・「アッパ」 参加:11人

- 尼崎支部の会員数と組織率
6/24現在 医科381人(83%)、歯科134人(52.1%)
- 医療をめぐる情勢と運動対策
参院選挙をめぐる情勢、消費税増税と医療の損税問題、県立病院の統合再編問題等について意見交換した。
- 当面の支部活動
7月17日(土)14:30～労働福祉会館にて第39回支部総会を開催。7月28日(水)13:30～金楽寺住宅にて健康教室を開催予定。
- 次回の幹事会
7月30日(金)20時からJR尼崎・「ホップイン」で開催予定。

お問い合わせはTEL 078-393-1803 長澤まで